

先人たちの思いを受け継ぎ  
農業の発展を支えていきます



市長が、旭川のまち・人・物などについて思うことをお伝えします。

今年も収穫の秋がやってきました。市内のスーパ―には新米が並び、北海道産のバレイショやカボチャ、リンゴなどもよく見掛けるようになりました。

市外の方から旭川の産業について質問を受けたとき、私は産業の大きな柱の1つとして農業を挙げています。

本市をはじめ上川地方は「ゆめぴりか」や「ななつぼし」など、評価の高いおいしいお米を安定



的に生産する、国内有数の米どころです。その始まりは、今から120年以上前、屯田兵が入植した直後の明治24年までさかのぼります。以来、寒さに強く味の良い米を少しでも多く生産するため、品種改良や試験栽培

が繰り返され、そうした努力が実り、現在のようない大産地が形成されました。

少傾向にあります。市内には、現状に危機感を持ち、米の海外輸出や地元菓子店への食材の提供など、活性化に向けて積極的に取り組む生産者が数多くいます。こうした生産者をしっかりと支えながら、上川百万石を築いた先人たちの思いを受け継ぎ、これからも本市の基幹産業である農業が発展を続けられるよう、取り組んでいきます。

西川 将人

西川市長のまごに一言  
FMリバー FM83.7MHz  
10月27日(木)  
午後4時～4時15分

## 旭川市の広報番組

### テレビ

●マイタウンあさひかわ (手話通訳付き) HBC

10月23日(日)

午前6時30分～45分

「学ぼう！語ろう！旭川の手話(仮題)」

●旭川市民ニュース STV  
毎週土曜日

午前11時54分～58分

●わくわくライブ旭川  
ケーブルテレビポテト 11ch

毎週土曜日

午後1時～1時30分のうち、15分間

### ラジオ

●市からのお知らせ

FMリバー FM83.7MHz

毎月第1～3木曜日

午後4時から約5分間

## クイズに答えて

プレゼントを  
当てよう！



●問題 今月号の特集のタイトルは「旭川の農業 若い力で〇〇を耕す！」です。〇〇に入る言葉は？

●応募方法 はがきかファックス、電子メールに、答・住所・氏名・年齢・電話番号と広報誌を読んだ意見や感想、取り上げてほしいテーマなどを記入して、10月末日までに下記の応募先へ。正解者の中から抽選で10人に、写真集『旭川昭和ノスタルジー 我が青春の街角へ』をプレゼントします。9月号の正解は「心に」、応募は218通。8月号への応募は251通でした。

●応募先 〒070-8525 旭川市6条通9丁目 旭川市役所広報広聴課「広報クイズ係」

FAX 25・6515 ✉ kohoquiz@city.asahikawa.hokkaido.jp



## 夜間・休日等の当番医は

北海道救急医療情報案内センター

一般電話からはフリーダイヤル

☎ 0120・20・8699

携帯電話からは

☎ 011・221・8699

旭川市医師会

携帯版



## 市の主な相談窓口

※開設日時は窓口によって異なります。

●子供に関する相談や  
児童虐待の通報・相談

☎ 26・5500

●女性が抱える問題や  
配偶者等の暴力の相談

☎ 25・6418

●ひとり親家庭等の相談

☎ 25・9107

●高齢者の介護に関する相談

☎ 25・9119

●障害がある方の総合相談

☎ 73・5936  
FAX 73・5937

## 子供からの相談電話

子どもホットライン (無料)

☎ 0120・528506

平日午前8時45分～午後5時15分  
(月・木曜日は午後8時まで)

## 表紙の 写真



東鷹栖のタマネギ畑の様子(9月末)です。この後トラクターですくい上げ収穫します。写真を撮影した、農場カメラマン・伊東隼さんのインタビューを16ページに掲載。